



平成30年8月21日発行

HPアドレス: <http://keinet.com/dairyuus/>

「二度とない人生だから」こそ、「今」を大切に!

大龍小学校 校長 福田 裕生

8月6日、20年ぶりに長崎を訪ねました。午前8時15分、長崎の街中にサイレンの響きが…。それは、広島原爆投下の時刻に合わせた鎮魂のサイレンでした。通行人の中には、その場にしばし足を止めて黙祷される人の姿もありました。長崎平和公園へ向かう途中だった私は、車を路肩に止め車中で黙祷を捧げました。

その頃、長崎平和公園では、3日後に迫った平和式典の準備が炎天下で着々と進められていました。73年前のこの時期、日本中が深い悲しみに包まれたのです。

「二度とない人生だから」。いつの頃からか、8月になると思い出す詩です。詩を書いたのは坂村真民(さかむら しんみん/熊本県出身、平成18年に97歳で死去)です。彼の書く詩は分かりやすい表現が特徴の一つであり、小学生から大人にまで広く愛され、「癒しの詩人」とまで評されました。

二度とない人生だから

- 二度とない人生だから 一輪の花にも 無限の愛を そそいでゆこう
一羽の鳥の声にも 無心の耳を かたむけて
ゆこう
- 二度とない人生だから 一匹のおおろぎでも ふみころさないように
こころしてゆこう
どんなにか よろこぶことだろう
- 二度とない人生だから 一ぺんでも多く 便りをしよう (=手紙を書くこと)
返事は必ず 書くことにしよう
- 二度とない人生だから まず一番身近な者たちに できるだけのことを
をしよう
貧しいけれど こころ豊かに接してゆこう
- 二度とない人生だから つゆくさのつゆにも
めぐりあいのふしぎを思い
足をとどめて みつめてゆこう
- 二度とない人生だから のぼる日 しずむ日 まるい月 かけてゆく月
四季それぞれの 星々の光にふれて
わがこころを あらいきよめてゆこう
- 二度とない人生だから 戦争のない世の 実現に努力し
そういう詩を 一遍でも多く 作ってゆこう
わたしが死んだら あとをついでくれる
若い人たちのために この大願を 書きつづ
けてゆこう

最後に一編。私は節目節目に、先人の言葉にふれることで自分の性根を戒めたり、進むべき道を見定め直したりするように努めています。

「二度とない人生だから」こそ、無念の最期を遂げた多くの先人たちの艱難辛苦に敬意をはらい、併せて深い感謝の念を抱きながら、誰もが「今」この時を大切にして平和な社会の維持と更なる進化に向けた営みを続けたいものです。2学期も間近です。チーム大龍小の総力を結集して臨んでいきます。

大龍小金管バンド 九州吹奏楽コンクール出場へ!

7月28日(土)に市民文化ホールで行われた、第63回鹿児島県吹奏楽コンクールにて、大龍小金管バンドが見事金賞に輝き九州吹奏楽コンクールの出場権を獲得しました。

金管バンドは市広報紙7月号に紹介され、県吹奏楽コンクールに向けての意気込みも語っていたところでした。本野みゆき教諭の指導の下、日頃の努力の成果が認められ、今回の荣誉に輝いたのでした。



8月1日出校日の全校朝会で受賞曲「あの大海原の向こうへ」を全校児童に披露しましたが、大龍小の子どもたち全員がその演奏をじっと聞き入り、素晴らしい演奏を実感していました。

九州吹奏楽コンクールは8月24日(金)に熊本で行われます。鹿児島代表として大舞台で持っている力を大いに発揮してもらいたいと思います。「大龍小金管バンド、チェスト!きばれ!」

先生たちも夏休みに頑張っています

先生たちも夏休みに校内研修を頑張っています。

7月23日は、鹿児島大学教育学部准教授の山本朋弘先生を講師にお招きして、小学校でのプログラミング教育について研修しました。プログラミングの考え方が子どもたちの思考を深める方法につながっているということを知り、日頃の授業の大事さを再確認しました。そのほか、4月に実施した標準学力検査(NRT)の結果分析を行い、正答が少なかった問題に関係するところを教科書に付箋を貼り、2学期からの授業に備える準備をしました。

8月21日・22日は道徳科、人権同和教育、特別支援教育、生徒指導の研修を行います。道徳科は県総合教育センターから、人権同和教育、特別支援教育は市教育委員会学校教育課からそれぞれ講師の先生をお招きして研修します。生徒指導は、大龍小OBで鹿児島大学教育学部の今林俊一先生をお招きして教育相談の在り方について研修します。

研修したことを2学期からの子どもたちの教育活動に生かしていきます。

※ 内田教諭は、ハンドボールの県選抜メンバーとして九州国体に出場し、活躍しました。

今

大切なのは かつてでもなく
これからでもない
一呼吸一呼吸の 今である

夏休みの子どもたちの活動の様子

◇交通安全子どもサミット

7月25日(水)に中央警察署で交通安全子どもサミットが行われました。本校から、6年生の武幸希くん、5年生の永静琉くんが参加しました。子どもサミットに向けて、5・6年生の生活委員会の子どもたちが「よくみて わたろう」の桃太郎旗を作成しました。旗には、以前青信号で横断歩道を横断中に車とぶつかったという事故があったという話聞き、信号を守ることは当たり前なのに信号を守っていても事故にあうことがあると知り驚いたことをもとに、「信号をよく見る」「安全かどうかをよく見る」という二つの意味をメッセージとして込められていることを発表しました。



◇金管バンドにサプライズ

指揮者として国内外で活躍されている下野竜也先生が8月2日(木)に来校され、大龍小の金管バンドの子どもたちに御指導くださいました。聴く人に伝わる演奏をするために「いつも新鮮な気持ちで演奏する」ことの大切さを子どもたちに教えてくださいました。下野先生の分かりやすくユーモアのある言葉に子どもたちはどんどん引き込まれ、曲のイメージを膨らませながら演奏することができました。



◇ボランティアリーダー研修会

8月10日(金)に市民福祉プラザで5・6年の総務委員会の子どもたち6名がボランティアリーダー研修会に参加しました。最初に、災害ボランティアに参加した学生、一般の方の報告を聞きました。その後、災害クロスゲームをしました。災害クロスゲームは、もし災害が起きたとき、どう対応するかを、具体的場面を想定して話し合い、その理由を付けて発表するというものでした。子どもたちにとってボランティアのことを真剣に考えるよい機会となりました。



「学校便り「えのき」第5号『「砂まみれ」の先に』」に地域の方から感想をいただきました。

先日、地域の方から下記のようなお葉書をいただきました。

町内会の回覧が回ってきました。その中に「えのき」第5号があり、じっくり拝読させていただきました。校長先生の『「砂まみれ」の先に』、大変感動いたしました。私も若い頃から「泥まみれの感激」を味わっており...(中略)ありがとうございました。

このような感想をお寄せいただき大変うれしく思いました。また、地域の方々にも、学校だより「えのき」に関心を高く持っていていただくことを改めて感じることでした。今後も学校だより「えのき」を充実させて、学校の情報を発信してまいります。御愛読いただけるとありがたいです。どうぞよろしくお願いいたします。

1学期の学校評価（保護者アンケート）結果をお知らせします

「学校教育」及び「家庭教育」に関するアンケート 集約 7月

長子回答数 229
 児童回答数 287

4点満点

番号	観点項目	評定平均
1	学 学校は、地域のよさ(人材、自然、歴史・文化等)を生かしながら、新たな取組にもチャレンジし、さらに魅力ある大龍小学校づくりに努めていると思いますか。	3.4
2	校 学校は、いじめ防止や仲間づくりのことを大事にし、よりよい雰囲気づくりに努め、子どもたちが毎日楽しく学校生活を送っていると思いますか。	3.5
3	の 学校は、子どもに基本的な学習態度(姿勢、発表等)や学力・体力、規範意識や生活態度が身に付くような指導を重ね、子どもに力を付けていると思いますか。	3.5
4	取 学校は、職員が一丸となって一人一人の子どもを大切に、優しさと厳しさを併せもった熱意ある指導や誠意の伝わる対応をしていると思いますか。	3.4
5	に 学校は、保護者の思いや相談事(不安や悩み)等を受け止めて、保護者や地域、関係機関とも十分に連携を図りながら教育を進めていると思いますか。	3.5
6	つ 学校は、方針(考え)や取組等を積極的に情報発信したり、分かり易く説明したりしていると思いますか。(学校便り、保健便り、図書便り、週報、ホームページ等)	3.5
7	い 学校は、教育環境(教室内や校舎内の掲示物・設営、校内緑化、安全面の配慮、施設・設備等)を整えるために、工夫や努力をしていると思いますか。	3.5
8	て 学校職員は、子どもや保護者、地域の方々に対して、場に応じた挨拶、言葉遣い(電話の対応)、誠意のある接し方や協力をしていると思いますか。	3.6
9	家庭 子どもと挨拶や会話を交わし、家事(手伝い)をさせ、人を傷つける言動(差別やいじめ)や迷惑行為、命や安全等について、繰り返し言い聞かせていますか。	3.5
10	の 家庭学習(1年20分,2年30分,3年40分,4年50分,5年60分,6年70分以上)が習慣化するよう	3.2
11	取 規則正しい生活習慣(早寝・早起き、ハチツボネブ、朝ご飯、テレビ視聴やゲーム時間、忘れ物0等)が身に付き、身なりが整うように声をかけ、見届けをしていますか。	3.2
12	組 病気の治療(目・耳・鼻の病気やむし歯)を早めに行なわせたり、病気の予防(手洗い・うがい・排便等)や体力づくり(外遊びや運動)等に取り組ませたりしていますか。	3.3
13	につ 配布物は必ず読み、提出物は期限を守るようにしていますか。	3.4
1	子 お子さんは、喜んで登校し、満足して下校していますか。	3.6
2	童 お子さんは、あいさつや返事がきちんとできていますか。	3.3
3	の お子さんは友達や周りの人のことを考えた思いやりのある行動や言葉づかいができていますか。	3.3
4	状 況 お子さんは、学習や生活にふさわしい服装で登校していますか。(帽子、白い靴下、髪ゴムの色など)	3.8
5	お 子 さん は 物 を 大 切 に し た り、 環 境 に よ い 行 動 を し た り し て い ま す か。	3.1
6	お 子 さん は、 家 庭 で 読 書 に は げ ん で い ま す か。	3.1
7	お 子 さん は、 学 習 内 容 を 理 解 し て い ま す か。	3.2
8	お 子 さん は、 家 庭 学 習 に し っ か り 取 り 組 ん で い ま す か。(1年:20分,2年:30分,3年:40分,4年:50分,5年:60分,6年:70分)	3.2
9	お 子 さん は、 危 険 予 知 能 力、 危 険 回 避 能 力 が 高 ま っ て い ま す か。	3.1
10	お 子 さん は、 ハ チ ツ ボ ネ ブ、 手 洗 い・う が い、 食 後 の 歯 磨 き の 習 慣 が 身 に 付 い て い ま す か。	3.2

<自由記述>

- 個々の声に耳を傾けてくださり、子どもを預けることにとても安心してあります。
- あいご会の歩こう会など、地域との連携が密でいいなと思います。担任の先生や6年生とのかかわりが楽しくてたまらない様子の娘です。いつもありがとうございます。週報や学校便りで、学校の様子がよく伝わります。
- 地域の方々との歩こう会やサイクル活動などを通して、目に見えない非認知能力も育てていると思います。(歴史、文化、奉仕活動)
- 校長先生のお人柄が好きです。担任の先生をはじめ、別の学年の先生でも子どもみんなを気にかけてくださり感謝しています。
- 地域の方、保護者の方々、子どもたち、皆大龍小に誇りを持っていらっしゃる、好きというのが伝わってくる人が多いなと感じます。他校にもよく行きますが、先生方、子どもたち、どちらも大龍小の方が笑顔であいさつをしてくださることが多いです。同級生たちはよく話しかけてくれるので、我が子のようにかわいく感じます。
- ※ 学習面では、本人が理解していないと感じたとき、どこまで親が介入していいものか悩みます。(本人が先生に聞く勇気がなかったり、或いは親の教え方が学校と違っていたりで混乱するか?など)
- 家庭訪問や教育面談を通して、子どもの学校での様子や学力などを詳しく教えていただいています。
- あたたかい雰囲気と西郷さん、東郷さんを尊敬する心と郷土愛を中心として展開されているところが素晴らしいと思います。
- 災害や事件・事故等について、すぐに状況や対策などをメールで連絡いただけるところに安心感を持っております。他校の方々から大龍小の対応に「素晴らしい」「うらやましい」の声をもらいます。感謝しております。
- 朝の登校時、校長先生自らあいさつしていただき、1日1日を大切にいただいている姿勢を感じています。以前、気になることを相談したときに、担任の先生がすぐに対応してくださいました。安心の中で、学校生活を送らせてもらっています。日々の先生方の働きに感謝の毎日です。
- 先生と子ども、先生と保護者の距離感が近く、何か壁にぶつかってもその都度、親子共に助けてもらっています。
- 子どもたちが学年関係なく仲がよく、一緒に遊んだり登下校したりする姿を見かけ、素晴らしい事だと思いました。
- 子どもを第一に考えて、学校全体で配慮していただき感謝しています。そのおかげで学校に楽しく行けています。
- 担任の先生はもちろん、他の先生方も学校に行けばあいさつや声かけをしてくださいます。すごくうれしいです。
- 先生が子どものことを理解してくれているので、子どもに合ったやり方や方法などをアドバイスしてくださるのですごく嬉しいです。ありがとうございます。
- 歴史教育を多く取り入れて興味深い話をたくさん子どもたちにしてくださっており、子どもの学習意欲が育ってきていると感じます。
- 小学校に登校する毎日の中で、登校を嫌がることもあるのですが、親としては引きずってでも登校させることもあります。そんな中、先生方が優しく迎えてくださって安心して登校していく姿を見て、本当に大龍小に通えることに感謝の気持ちでいっぱいになりました。
- 明治維新150周年という記念の年ということもあるのかもかもしれませんが、偉人を敬い尊ぶという活動や発信が多くとてもよいことだと思います。ノーベル賞を受賞された大龍小出身の赤崎先生も誇りです。子どもたちは素晴らしい先輩がいるのだと誇りを持っていると思います。
- 児童数が多すぎず、ちょうどよいと思う。そのため、子どもの顔と保護者の顔が一致しやすい。学年が違う先生方からも声をかけられたり、とてもよい環境だと思う。
- 学校内で子どもたちがあいさつを先にしてくれる。先生とのコミュニケーションがとれている。
- 部活や友達関係などで悩んでいると、先生方が気づいて声をかけてくださるので、自分から相談できない我が子でも話せるので、安心して登校させることができます。今後ともよろしくお願いいたします。
- 先生方がいつも笑顔で子どもや保護者にも接してくださり、子どもたちにもそれが伝わっていると思います。
- △ 教育面談の開始は、9月からでよいのではと思います。家庭訪問から一ヶ月程度しか過ぎていないので、もう少しお互いを知ってからでもよい気がします。(せめて8月とか…)
- △ できない子に対してはその子に合ったよりよい対策をしてほしいです。
- △ 車通学をしている家庭は、行事の際、少しでも駐車スペースを確保してほしいので、学校も御理解いただきたいです。
- △ 教室が汚いのがとても気になります。もう少し、掃除や片付けを子どもたちに教えてほしいなあと思います。
- △ 昔の暑さと全然違う時代になってきているので、1年中、水筒を持たせてきちんと水分補給できるようにしてほしいです。
- △ 学級での明るい話題が週報等で見たいと感じます。できないことも注意したいと思いますが、クラスでの明るい話題で「学校は楽しい」と思えるように話をしたいとも思っています。

評定の平均は数値が高く、保護者の方々から非常に高い評価をいただきました。自由記述の△は改善に向けて検討していきたいと思います。2学期も保護者の方々の期待に応えられるように職員一丸となって取り組んでまいります。御協力をよろしくお願いいたします。

